

### <MFJ 全日本トライアル選手権>

## Team HRC が電動トライアルバイク「RTL ELECTRIC」で参戦 ～開発ライダーとして元トライアル世界チャンピオンの藤波貴久を起用～

株式会社ホンダ・レーシング（以下、HRC）は、電動トライアルバイク「RTL ELECTRIC（アールティーエル・エレクトリック）」で、HRC が運営するワークスチーム<sup>※1</sup>「Team HRC（チーム・エイチアールシー）」として、10月13日に開催される「2024 MFJ<sup>※2</sup>全日本トライアル選手権シリーズ 第6戦 和歌山・湯浅大会」より国際A級スーパー（IAS）クラスに参戦します。

※1 ワークスチームとは、マシンを製造しているメーカーが運営しているチーム。Honda では HRC が運営するチーム

※2 MFJ とは、Motorcycle Federation of Japan（一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会）の略称



RTL ELECTRIC



藤波貴久と RTL ELECTRIC

RTL ELECTRIC は、FIM<sup>※3</sup> トライアル世界選手権の参戦車両であり、トニー・ボウ選手の18連覇に貢献しているワークスマシン「Montesa COTA 4RT（モンテッサ・コタ・フォーアールティ）」で培った技術やノウハウに基づき新規に開発された、Honda 初の競技用電動トライアルバイクです。また、今シーズンから電動オフロードバイクの世界戦「FIM E-Explorer World Cup」に参戦している「CR ELECTRIC PROTO（シーアール・エレクトリック・プロト）」で、新たに得た電動領域（モーターやバッテリー等）の知見等も、RTL ELECTRIC の開発に活かされています。

RTL ELECTRIC 開発ライダーには、2004年のFIM トライアル世界選手権チャンピオンで、現在は「Repsol Honda Team（レプソル・ホンダ・チーム）」の監督を務める藤波貴久（三重県44歳）を起用し、同大会にライダーとして参戦します。

Honda は、2050年にHondaの関わる全ての製品と企業活動を通じて、また、2040年代には全ての二輪製品でのカーボンニュートラルを実現することを目指し、今後の環境戦略の軸として二輪車の電動化に取り組んでいます。Honda は多様化するお客様のニーズに答えるため、モトクロスに加え、トライアルでも電動化に挑戦することで、さらに技術の進化を図っていきます。

※3 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

## ■RTL ELECTRIC 開発ライダー 藤波貴久

「Honda のカーボンニュートラルへの取り組みに対し、トライアルで関わることができ、大変うれしく思っています。電動のトライアルバイクには無限の可能性があり、ライダーとしてのこれまでの経験を活かして、開発チームとともにより良いマシンに仕上げていきたいと思っています。今回は現役復帰ではないので、開発ライダーとしての限定ですが、久しぶりに日本のファンの皆様の前で走れることが、今からとても楽しみです」

## ■株式会社ホンダ・レーシング（HRC）代表取締役社長 渡辺康治

「Honda は今年、電動オフロードバイクレースの新しいカテゴリーである FIM E-Explorer World Cup の参戦を開始しましたが、この度全日本トライアル選手権にも、RTL ELECTRIC で参戦することを決めました。電動二輪車で参戦するカテゴリーを増やしていくことで、技術を実戦の場で鍛え、ノウハウ・知見の蓄積、人材の育成をさらに加速させていきます。最後になりましたが、このプロジェクトに全面的に協力してくれた藤波貴久さんには、心から感謝いたします」

## ■参戦体制

参戦チーム名：Team HRC

参戦車両名：RTL ELECTRIC

参戦ライダー：藤波貴久（ふじなみ・たかひさ）

アシスタント：Carles Barneda Romans<sup>※4</sup>（カルロス・バルネダ・ロマンズ）

※4 現在はトニー・ボウ選手のマインダー（アシスタント）で、藤波貴久の選手時代には長く彼のマインダーを務めていた

## ■藤波貴久のプロフィール

生年月日：1980年1月13日（44歳）

出身地：日本（三重県）

## ■主な略歴

1993年 MFJ 全日本トライアル選手権 国際 B 級に 13 歳で参戦

1995年 MFJ 全日本トライアル選手権 国際 A 級 チャンピオン

1998年 FIM トライアル世界選手権 4 位、MFJ 全日本トライアル選手権 IAS チャンピオン

1999年 FIM トライアル世界選手権 2 位、MFJ 全日本トライアル選手権 IAS チャンピオン

2000年 FIM トライアル世界選手権 2 位、MFJ 全日本トライアル選手権 IAS チャンピオン

2001年 FIM トライアル世界選手権 2 位、MFJ 全日本トライアル選手権 IAS チャンピオン

**2004年 FIM トライアル世界選手権 チャンピオン**

2021年 26年間参戦してきた FIM トライアル世界選手権を選手として引退

FIM トライアル世界選手権 出場数：355 戦、優勝回数：34 勝

2022年 ワークスチーム「Repsol Honda Team」の監督に就任